

第35回 源氏物語アカデミー プログラム

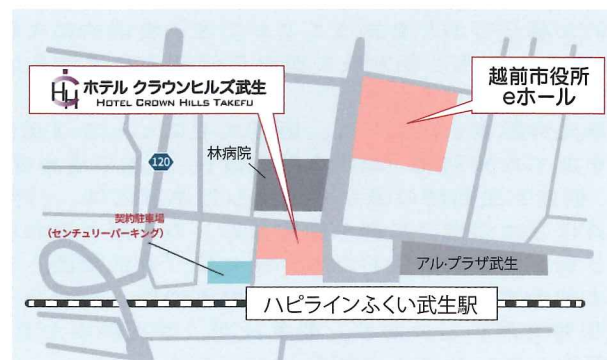
開催日	時間	内 容	会 場
10/25 金	18:00 18:15	開 講 式	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:20 19:20	講 義「受領と藤原為時」 同志社女子大学名誉教授 おほろ や ひさし 龍 谷 壽 氏	
	19:30 20:30	報 告「越前国府跡発掘調査のあゆみ」 越前市教育委員会生涯学習・芸術文化課 学芸員 にし わき な な 西 脇 菜 々 氏	
10/26 土	8:30 13:00	現地研修 「国指定特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡・博物館見学」 一乗谷朝倉氏遺跡博物館学芸員 みや な が かず み 宮 永 一 美 氏	一乗谷朝倉氏遺跡 博物館 ・ 特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡
	14:00 15:30	講 演「紫式部と和歌」 東京大学大学院教授 たか ぎ かず こ 高 木 和 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	16:00 17:00	対 談 大河ドラマ「光る君へ」の色いろ 共催：NHK福井放送局 日本画家 いさ やま え み おほろ や ひさし 諫 山 恵 実 氏・龍 谷 壽 氏	
	18:30 20:00	宴 席「紫きぶ御膳」	eホール (越前市役所内)
10/27 日	9:00 10:30	講 義「紫式部の地方観」 慶應義塾大学准教授 くりもと か よ こ 栗 本 賀 世 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	10:45 12:15	原文講読「源氏物語と越前・西海道」 京都先端科学大学国際学術研究院教授 やま もと じゅん こ 山 本 淳 子 氏	
	12:30 12:50	閉講式・講評 監 修 者 龍 谷 壽 氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- 参加会費
 - 受 講 料 / 4,000円 (各講義/原文講読)
 - 講義テキスト / 2,000円
 - 26日 特別講演・対談 / 一般公開
- 現地研修 / 5,000円 (バス・入館料・弁当)
- 紫きぶ御膳 / 8,000円
- 申込期限 9月30日(月) 期限厳守をお願いします。

[お申込み・お問合せ] 源氏物語アカデミー委員会

〒915-0832 福井県越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
Email: info@genji-ac.jp



- 会場までのアクセス
(ホテルクラウンヒルズ武生)
ハピラインふくい武生駅から徒歩1分
- J R北陸新幹線越前武生駅からシャトルバス(武生駅行き)またはタクシーで約15分



第35回 源氏物語アカデミー

監修 同志社女子大学名誉教授 龍谷 壽

テーマ 源氏物語と越前



渡辺玉花 源氏物語五十四帖「浮舟」

会 期：令和6年 10月25日金～27日国
会 場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主 催：源氏物語アカデミー委員会
共 催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
後 援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会 武生商工会議所
(一社)越前市観光協会 福井新聞社 古典の日推進委員会
助 成：令和6年度アートプロジェクト支援事業助成金



第35回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と越前

源氏物語アカデミーへの誘い

紫式部が生涯にただ一度、都を離れて父（藤原為時）と暮らした越前国府。その福井県越前市に、『源氏物語』を読み継ぐ全国の皆さんが集い、今年も第三十五回「源氏物語アカデミー」が開催されます。令和六年のアカデミーのテーマは「源氏物語と越前」。折しも大河ドラマでは、紫式部が主人公の「光る君へ」が放送されています。越前への旅と一年余りの地方での暮らしの中で経験したことが、後に『源氏物語』を著す女流文学者にどのような影響を与えたのか、各講師の先生方にあらゆる側面から解き明かしていただきます。また、現地研修で訪れる「一乗谷朝倉氏遺跡・博物館」では、復原町並の散策、華麗なる朝倉文化資料などもご覧いただきます。それでは、越前の地で『源氏物語』を追究する濃厚な三日間をどうぞお楽しみください。

講義

「受領と藤原為時」

10/25金 18:20～19:20



臚谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 日本古代史、平安時代の政治・文化
同志社大学文学部文化史学科卒
主な著書に『源頼光』（吉川弘文館）『平安京の四〇〇年—王朝社会の光と陰』（ミネルヴァ書房）『王朝と貴族』（集英社）『藤原氏千年』（講談社現代新書）『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』（吉川弘文館）『藤原道長』『藤原彰子』（ミネルヴァ書房）『平安王朝の葬送』（思文閣出版）紫式部顕彰会理事（京都）。公益財団法人古代学協会理事長。古典の日推進委員会アドバイザー。第 5 回から源氏物語アカデミー監修者に就任。平成 16 年度京都府文化功労賞受賞。令和 3 年度京都市芸術振興賞受賞。

報告

「越前国府跡発掘調査のあゆみ」

10/25金 19:30～20:30



越前国府の所在地解明に向け、越前市では継続的に発掘調査を実施しています。
また、令和5年度から「越前国府発掘プロジェクト」がスタートし、国府関連のものと思われる溝が検出されました。
本講座では過去の調査成果や昨年度始動したプロジェクトでの調査成果を報告し、発掘調査からみる越前国府の姿を紐解きます。
越前市教育委員会生涯学習・芸術文化課 学芸員 西脇菜々氏

特別公開講演

「紫式部と和歌」

10/26土 14:00～15:30



高木 和子氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 国文学、平安朝文学
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士（文学）。『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や和歌を研究。
主な著書に、『源氏物語の思考』（風間書房、第五回紫式部学術賞）、『男読み 源氏物語』（朝日新書）、『女から読む歌 源氏物語の贈答歌』（青簡舎）、『コレクション日本歌人選 和泉式部』（笠間書院）、『平安文学でわかる恋の法則』（ちくまプリマー新書）、『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』（岩波書店）、『源氏物語を読む』（岩波新書）、『源氏物語入門』（岩波ジュニア新書）、『源氏物語の作者を知っていますか』（だいわ文庫）。

講義

「紫式部の地方観」

10/27日 9:00～10:30



栗本 賀世子氏

慶應義塾大学文学部准教授 東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士（文学）。『源氏物語』・『うつほ物語』を中心とした平安朝物語文学を研究。
単著に『平安朝物語の後宮空間』（武蔵野書院、第十六回紫式部学術賞受賞）、『源氏物語の舞台装置』（吉川弘文館）、共著に『天空の文学史 雲・雪・風・雨』（三弥井書店）、『新時代への源氏学 4 制作空間の〈紫式部〉』（竹林舎）、『源氏物語 煌めくことばの世界Ⅱ』（翰林書房）、『はじめて読む源氏物語』（花鳥社）がある。

原文講読

「源氏物語と越前・西海道」

10/27日 10:45～12:15



山本 淳子氏

京都先端科学大学国際学術研究院教授 京都大学文学部卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士（人間・環境学）。主な著書に『源氏物語の時代——一条天皇と后たちのものがたり』（朝日新聞出版、サントリー学芸賞受賞）、『平安人の心で「源氏物語」を読む』（朝日新聞出版、古代歴史文化賞受賞）、『紫式部集論』（和泉書院）『紫式部日記と王朝貴族社会』（和泉書院）、『枕草子のたくらみ——「春はあけぼの」に秘められた思い』（朝日新聞出版）、『紫式部ひとり語り』（角川ソフィア文庫）など。

特別公開対談

大河ドラマ「光る君へ」の色いろ

10/26土 16:00～17:00



NHK 大河ドラマ「光る君へ」衣装デザイン

諫山 恵実氏

源氏物語アカデミー 監修者

臚谷 壽氏

諫山恵実（宝樹）
京都市立芸術大学日本画専攻卒業、同大学院保存修復専攻修了。大学院在学中より東映京都撮影所にて様々な時代劇の襖絵等の制作に携わり、2015年の独立後は京都で寺社への奉納や定期的な作品公開や映像作品、広告媒体への作品提供等、活動の幅を広げている。

共催：NHK福井放送局

現地研修

「国指定特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡・博物館見学」

10/26土 8:30～13:00

解説 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 学芸員 宮 永 一 美氏



一乗谷は戦国大名朝倉氏が城下町を築き、5代100余年にわたり栄えた場所です。城下町跡全体が遺跡として残り、半世紀以上続く発掘調査によって、文房具や茶道具・花瓶・香道具などが多数出土しており、戦国時代の文化的な暮らしを知る事ができる全国的にも稀有な遺跡となっています。令和4年10月には、発掘調査の成果と朝倉氏の歴史を紹介する遺跡見学のゲートウェイ施設として県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館が開館しました。

令和6年春には、北陸新幹線延伸開業を記念して、戦国大名にとって『源氏物語』が京文化の象徴となっていたことにスポットをあてた特別展「戦国大名朝倉氏 武威の煌めき 源氏物語と戦国武将」（3/9～4/14）を開催しました。朝倉当主館跡の濠から出土した木簡には、『源氏物語』夕顔帖の作中歌「山の端の心も知らでゆく月はうはの空にて影や絶えなむ」の一部と思われる「山のはの心」の文字が書かれており、乱世にありながら朝倉の武将たちが熱心に「源氏物語」を享受していたことを物語るものとなっています。基本展示室の文化ゾーンでは、戦国時代、都から一乗谷へ下向してきた貴族らが伝授した和歌集や芸能伝書を展示しており、朝倉氏が、紫式部ゆかりの越前(武生)を治めることに誇りを持って、京文化を摂取していたことを紹介しています。